

先生に質問したい  
あんなことやこんなこと



美術は好きだけど、  
将来、やりたいこ  
とが決まっていま  
せん。

A. 美術の様々な経験を経て、将来を見据えます。  
1番大切なことは、「美術が好き」という気持ちです。美術科では、皆さんの好きをより育むために、日本画・油絵・彫刻・デザインの専門的な実技授業や制作合宿、東京研修、ヨーロッパ研修旅行、卒業制作展など美術科ならではの様々な企画が用意されています。そして、それらの経験を通して、将来の夢を育んでいきます。

友達ができるか  
不安です。

A. 美術が好きな集団なので、すぐに打ち解けます。  
美術科の教員も含め、好きなことが似ている個性豊かなメンバーが集まっているので、共通する趣味や話題で意気投合できます。そして、高い進路目標をもった仲間と共に切磋琢磨し、自分自身を磨き上げられる環境がこの美術科にはあります。

授業以外でも  
作品制作がしたい。

A. 授業後のアトリエを自由に利用できます。

美術科では個々の自主的な活動を重んじています。朝の始業前や、放課後、土曜日もアトリエを自由に利用できます。そのような中で同級生や先輩と作品について議論を交わし、教え合うなど学年を超えた交流ができます。自主的な活動を積極的に行い、自身の課題についてじっくり向き合うことが上達の鍵になります。

美術科で学んだこ  
とは社会に役立つ  
のでしょうか？

A. 真に信頼され事を任せうる人材として幅広い分野で活躍しています。

美術系の大学に進学するためのコースとして美術科が設立され、今年で30年目になります。これまでに、教員やアーティスト、デザイナーなど美術系の仕事に就く人材を世に多く輩出しており、国内だけでなく世界で活躍しています。それ以外にも観察力・発想力・プレゼンテーション力など美術を通して身に着けられる能力は社会で生きていく上で、きっと役に立っていくことでしょう。

美術科の進学実績  
について教えてく  
ださい！

A. 国公立大学合格者数21名(現役のみ3ヶ年実績)輩出！

2021年度入試では、7名が国公立に現役合格(2019年度入試8名、2020年度入試6名)をしています。合格実績(2011~2021年度入試)では、東京藝術大学10年連続合格者を輩出(※浪人生含む)しています。(詳しくは、P.5を参照)

## 美術科のご案内2021



# 2022美術科紹介

## 1.「美術科」の目標

- ◆ 美術やデザインの分野を通じ、社会・文化への貢献に寄与できるスペシャリスト(専門家)を育成する。
- ◆ 芸術分野としての美術・デザインについて、表現と理論の双方から幅広く学び、自己理解・他者理解を深めると共に豊かな情操と感性を養う。

## 2.「美術科」の特色

### ① 充実の専門科目カリキュラムと指導

#### (1) 4つの専攻「日本画」「油画」「彫刻」「デザイン」

| 1年次           | 2年次                  | 3年次          |
|---------------|----------------------|--------------|
| ○ 素描          | ○ 素描                 | ○ 素描         |
| ● 絵画(日本画／油絵)  | ● 日本画                | ● 日本画        |
| ● 構成(彫刻／デザイン) | ● 油絵                 | ● 油絵         |
| ○ 総合探究(CG)    | ● 彫刻                 | ● 彫刻         |
| ○ 美術概論        | ● デザイン               | ● デザイン       |
|               | ○ 総合探究(進路研究)         | ○ 総合探究(卒業制作) |
|               |                      | ○ 美術史        |
|               |                      | ○ 鑑賞研究       |
| ● 全専攻を履修      | ● 2専攻を履修<br>2学期より1専攻 | ● 1専攻を履修     |

#### (2) 制作時間の充実と細やかな指導

- ◆ 確かな観察力と表現力が身につけられるよう、1年次より素描指導に重点を置いています。具体的には、週1回の7.8限授業(15:40～17:30)を展開します。
- ◆ 土曜日には「土曜アトリエ」としてアトリエ施設を開放し、各自の課題にそって制作ができるよう体制をとっています。自立的な制作姿勢を培う場としています。
- ◆ 4専攻を軸に、多くの教員が関わってマンツーマンによるきめ細かい実技指導を展開します。一つの課題に対して複数の教員が指導助言を行うことで、幅広い視野と表現力を養うことができるよう心がけています。

#### (3) 美術科の専門性

- ◆ 3年間を通して、伝統的な日本画の技法研究、油絵の古典技法、デザインのCG授業や写真実習、彫刻の粘土や鉄を使った立体造形など各専攻の専門性を深めていく授業を展開していきます。
- ◆ 生徒たちが豊かで健全な制作の発想や知識を得られるよう、「美術概論」や「美術史」、「鑑賞研究」など美術理論の学習を通して、美術・デザインの歴史や様々な作家たちの精神などを学びます。

### ② 制作意識を高める

将来にわたりプロとしての真摯な制作姿勢を身につけるためには、集中した制作時間や好奇心を持つ体験は重要です。入学から卒業まで、制作合宿や美術展、また各種コンクール等への積極的な参加と鑑賞活動を通して、生徒たちの視野を広げます。

#### (1) 1年生夏期制作合宿

毎年、全員参加にて3泊4日で実施しています。絵画(油彩又は水彩)の作品を制作。毎晩、絵画理論や作品講評などを行います。(時機を鑑み実施)

#### (2) 1年生東京研修

東京藝術大学の卒業制作展や美術展鑑賞の企画を行っています。校外企画は、生徒たちに大きな刺激と貴重な体験の機会となっています。(時機を鑑み実施)

#### (3) ヨーロッパ研修旅行 2019年11月7日～12日

美術科2年生の秋にヨーロッパ研修旅行を実施しています。コロナ禍の影響で2020年度と2021年度は、残念ながら実施できませんでしたが、2019年度は、イタリアにて、ローマやフィレンツェ、ヴェネツィアの3都市を6日間にて訪問し、ヴァチカン美術館やウフィツィ美術館、ヴェネツィア・ピエンナーレまで、約2500年間の新旧の美術品の数々を鑑賞しました。(時機を鑑み国内含め実施)



ヴェネツィア、サンマルコ広場にて 2019年11月11日

#### (4) 朝デッサンと朝読書

平日の毎朝「朝デッサン」を1年生全員参加で実施します。2年生は各自の制作・学習にこの時間を活用しています。この後は、全校で取り組んでいる「朝読書」に続きます。緊張感と集中力を高める朝となっています。

#### (5) 「未来の芸術家たち」展

- ◆ 例年、愛知県美術館にて卒業制作「未来の芸術家たち展」を開催してきました。これまで、新聞やテレビ局などのメディアにも取材され、多くの来場者を記録しています。卒業制作は、高校生活の集大成であり、生徒自身にとっても初めての作品発表となる重要な行事です。
- ◆ 卒業制作は、専攻毎に2年生後半から導入が図られ、3年生「総合的な探究の時間」も活用し展開しています。

#### (3) 進路指導

##### (1) 体系的な進路指導

- ・1年次 社会で働く専門家の話を聞き分野への理解を深めます。
- ・2年次 大学見学や模擬授業等を通して卒業後のイメージをより具体化します。
- ・3年次 大学別ガイダンスや各芸大・美大合格者の作品鑑賞会を通じ、自らの制作目標を明確にします。

##### (2) 芸大・美大への受験指導

- ◆ 生徒個々の進路希望を尊重し、表現力向上を目指して入試直前まで細やかな受験対策指導を行います。
- ◆ 一般教科の学力補強のために、教科ごとに平日放課後補習や土曜講座、夏期補習などが用意されています。
- ◆ 実技力補強は、夏休み中に前期と後期で夏期補習の実施や外部からの講師を招聘しています。



#### 4. 東邦美術科のこれまでの主な歩み

|             |   |
|-------------|---|
| 平成3(1991)年  | 普通科に「美術デザインコース」設置   |
| 平成4(1992)年  | 「美術科」開設2クラス体制でスタート(次年度以降1クラス募集に変更)<br>普通科・商業科・美術科の3学科体制となる              |
| 平成5(1993)年  | 第1回卒業制作展「未来の芸術家たち展」を開催(於:電気文化会館東西ギャラリー)                                 |
| 平成6(1994)年  | 彫刻棟竣工(旧校舎)<br>美術デザインコース1期生卒業  |
| 平成8(1996)年  | 第4回卒業制作展は愛知県美術館(芸術文化センター)にて開催(以後、例年、県美術館で開催)                            |
| 平成13(2001)年 | 第9回卒業制作展は、新商業科グラフィック・デザインコースも参加(以後、毎年合同展として開催)                          |
| 平成14(2002)年 | 「全国美術高等学校協議会」の加盟校(約60校)となる<br>県内私学唯一の美術高校として、毎年、旭丘高等学校と共に協議会発表に参加       |
| 平成19(2007)年 | 新校舎竣工にともない、特別棟4階に日本画室、油画室、デザインABC3室、素描室、<br>1階には彫刻室、3階にはマッキントッシュ室等が完成する |
| 平成23(2011)年 | 2011.12.13現役3年連続東京藝術大学合格を果たす  |
| 平成24(2012)年 | 12月パリ研修旅行実施   |
| 平成25(2013)年 | 「全国美術高等学校協議会」全国大会を会長校として実施<br>美術科20周年記念誌を発行                             |
| 平成26(2014)年 | 11月ヨーロッパ修学旅行実施(パリにて)  |
| 平成27(2015)年 | 「全国美術高等学校協議会」本部事務局に就任(～2019)<br>11月ヨーロッパ修学旅行実施(パリにて)                    |
| 平成28(2016)年 | 「全国美術高等学校協議会」本校にて臨時総会開催<br>12月沖縄修学旅行実施                                  |
| 平成29(2017)年 | 11月ヨーロッパ修学旅行実施(イタリアにて)  |
| 平成30(2018)年 | 8月ドイツ・ブルクギビヒエンシュタイン美術大学ウルリッヒ・クリーバー特別講義<br>11月ヨーロッパ修学旅行実施(イタリアにて)        |
| 令和元(2019)年  | ヨーロッパ研修旅行に名称変更(11月イタリアにて実施)<br>※2020,2021年度は、コロナ禍の為中止                   |

今年は、「美術デザインコース」の開設から30年目となります。97年に及ぶ東邦の歴史の中では新しい学科ですが、毎年、国公立芸大や難関私立をはじめとした美術・デザイン系大学に多くの生徒たちが挑戦し、着実な成果を収めてきました。卒業生たちの多くは、作家やデザイナー、漫画家、キュレーター(学芸員)、美術教育の指導者などとして、専門分野で活躍しています。



#### 5. 卒業生インタビュー

##### 中谷心咲さん 愛知県立芸術大学美術学部油画專攻1年生

##### 令和2(2020)年度卒業



私はこの美術科に入って、かけがえのない友達と切磋琢磨し、沢山の思い出を作りました。自分の作品や夢に対する姿勢に真摯に向き合ってくださった先生方と出会い、このような恵まれた環境の中で夢に向かって思いっきり制作したことがとても印象に残っています。

先生方はとても心強く、将来等に悩んだ時も自身の特性や先生自身の経験を踏まえて相談に乗ってくださいました。

美術科で得られる沢山のチャンスを利用して、素敵な高校生活を送ってくださいね!

##### 伊藤潮さん 東京藝術大学美術学部日本画専攻1年生

##### 平成30(2018)年度卒業



高校の時には、自分の興味のある制作に自由に取り組んでいました。自分の取り組みたいと思ったことを自由に試せたことは、大学での制作をしていて役に立ったと思うことも多く、思い返しても重要な体験だったと思います。

将来、自分の目標があるという人にとって、まだ見つからないという人にとって、興味のある分野で幅広い体験が出来ることは、この先何より貴重な経験になると思います。

#### 6. 美術科の生徒達の活躍(2005年度～今までの在校時より)

- ・第23回全国絵画公募展IZUBI優秀賞(2005)
- ・第5回佐藤太清賞公募美術展 福知山市長賞(2005)
- ・豊田市美術展豊田市長賞(2005)
- ・第15回学生CGコンテスト動画部門奨励賞(2009)
- ・デジスタ・ティーンズ第2回放送(2009)
- ・全日本アートサロン絵画大賞展 優秀賞(2009)
- ・大王賞展 入選(2010)
- ・あいちの教育に係るシンボルマークデザイン 優秀賞(2012)
- ・毎日新聞社主催 第4回若者よ、新聞を読もう!コンテスト 優秀賞(2012)
- ・大王崎大賞展 秀作(2013)
- ・豊明市民美術展影刻部門 豊明市教育委員会賞(2013)
- ・東アジア高校生美術展 入選(2013)
- ・游心会 登録社社長賞(2013)
- ・中日書道展 佳作(2013)
- ・ゆきこま会ペラー、アレゼンチン公演(2013)
- ・名古屋少年少女合唱団ヨシカクルカテゴリー8.9予選とともに1位本選(聴衆賞)(2013)
- ・日本トリュフ文化交流会主催第4回高校生絵画コンテスト高校生絵画部門最優秀賞(2014)
- ・森と湖の絵画コンテスト銀賞(2018)
- ・高校生国際美術展 奨励賞(2名)(2014)
- ・名古屋芸芸学主催高等学校ファッショントレンドコンテスト 優秀賞(2014)
- ・平成26年度長久手市文化の家絵画コンクール一般の部 入選(2014)
- ・クエストカップ2014全国大会出場(2014)
- ・デザインコンペティション入選(2014)
- ・放送部東海ラジオ放送主催第4回高等学校ラジオ作品コンクール番組制作部門奨励賞(2014)
- ・高校生国際美術展優秀賞(1名) 佳作(2名)(2015)
- ・さんぽう進学ネット 高校生イラストコンクール佳作(2015)
- ・第17回高校生国際美術展 奨励賞(2016)
- ・少年ジャンプ第107回トレジャー新人漫畫賞 準進グランドトレジャー賞(2016)
- ・週刊少年ジャンプ特別編集増刊 ジャンプGIGA 2016vol.3『BUDDA!!!』掲載(2016)
- ・写真部第23回全国高等学校写真選手権大会写真甲子園2016開幕審査会東海ブロック出場(2016)
- ・第54回豊田市民美術展 洋画の部 豊田市教育委員会賞(2016)
- ・第18回高校生国際美術展 佳作(2017)
- ・写真部第13回昭和シェル石油環境フォトコンテスト 学校団体優良賞(2017)
- ・高校生アートグランプリ2017入選(2017)
- ・第24回高等学校デザイン選手権大会2017学校賞「ポケーション」入選(2017)
- ・第19回高校生国際美術展 奨励賞(2018)
- ・絵かきの町・大王大賞展「第11回絵画展」秀作(2名)(2018)
- ・カードアート大賞展2018団体賞、入選(2名)(2018)
- ・第25回全国高等学校デザイン選手権大会2018入選(2018)
- ・全国高等学校ファッショントレンドコンテスト準グランプリ(2018)
- ・第5回大阪トルコ日本協会主催絵画コンテスト サクラクレバス賞(2018)
- ・東京アナログ HP掲載(2018)
- ・ソードアート・オンラインフェイタル・バレットオリジナルキャラクター採用(2018)
- ・第33回 WE LOVE トンボ絵画コンクール銀賞(2018)
- ・愛知私学美術展中日新聞社賞(2019)
- ・第16回千修イラストレーションコンテスト入選(2019)
- ・写真部全国高等学校写真選手権大会写真甲子園本戦出場(2020,2021)

#### 7. 美術科の卒業生達の主な活躍

- ・GDEPOD所属
- ・ネコ金魚を作成発売
- ・日本美術院 院友
- ・白日会 会員
- ・東京都町田市立版画美術館 作品収蔵
- ・長野県佐久市立近代美術館 作品収蔵
- ・京都迎賓館の御用度 制作参加
- ・静岡市立版画美術館 作品収蔵
- ・伊勢現代美術館 個展
- ・アーティスト
- ・アートディレクター
- ・LANDSCAPE DESIGN
- ・アトリエ主催
- ・CANON写真新世紀 優秀賞(1999)
- ・アートワードトキヨー 谷川祐子賞(2008)
- ・愛知県立芸術大学 優秀学生賞(油画)(2009)
- ・VOCA展出品(2010)
- ・VOCA展佳作(2011)
- ・東京藝術大学修了制作首席(日本画)(2011)
- ・京都迎賓館の御用度 制作参加
- ・第36回全国版画展 買上賞(2011)
- ・JAGDA年鑑 入選(2012)
- ・子育て対象にした被災地支援に参加
- ・サン・アンサン 大聖堂複写展 出品
- ・株式会社スタジオジブリ社
- ・伊勢現代美術館 個展
- ・アーティスト
- ・アートディレクター
- ・LANDSCAPE DESIGN
- ・アトリエ主催
- ・第2回アーティスト・イン・ミュージアムAIM2017岐阜県美術館展示(2017)
- ・一宮市三岸節子記念美術館ワークショップ開催(2017)
- ・名古屋市美術館 常設企画展 開催(2017)
- ・「ビカラクセブン」サンシャイン劇場(2018)
- ・少年ジャンプチャンピオンGA2018SUMMERvol.1-3『NORA』/『BA』/『第1-3話』掲載(翻訳)(2018)
- ・「MOON LIGHT」掲載(翻訳)(2019)
- ・りほんまんがスクール+ 準りほん賞(2019)
- ・りほん6月特大号『君の世界におちていへ』掲載(翻訳)(2019)
- ・第13回CBC翔け!二十歳の記憶展 グランプリ(2019)
- ・あいちトリエンナーレ2019情の時代 参加アーティスト(2019)
- ・『美術館に行ってみた(挿絵)』埼玉福祉会出版部(2019)
- ・あいちトリエンナーレ2013出品(2013)
- ・FUTURECONVENIENCE STORE CONTEST2016 最優秀賞(2016)
- ・週刊少年ジャンプ特別編集増刊 ジャンプGIGA 2017vol.1『DOGS』掲載(翻訳)(2017)
- ・週刊少年ジャンプ49号『グリム・リーパー』掲載(特別翻訳)(2017)
- ・『ミュージアムの女』株式会社KADOKAWA出版(2017)